



**第1回ふじやま公園写真コンテスト表彰式もあるよ
みんな集まれ!! 秋のお楽しみ ふじやま公園収穫祭**

異常なまでの暑さや頻発する台風の影響で、サツマイモ、サトイモ、ネギなどふじやま農園の農作物の生育はちょっと苦戦中です。1か月後の収穫祭に向け、農芸部員も必死。ラストスパートがかかっています。



今年の収穫祭では、夏に募集した写真展の表彰式も実施。ちびっ子たちに大人気のタッチー君は今年も来園します。

11月10日は、みんなで楽しいこと、おいしいものが盛りだくさんのふじやま公園へGO!!

日時	11月10日(土) 11時 (雨天の場合は翌日に順延)	
	＜引換券販売、参加券・抽選券配付は10時半開始＞	
内容	石焼き芋(サツマイモ)	100円 先着150名
	(サトイモ)	2個100円 先着50名
	ふじやま鍋	100円 先着150名
	おもしろゲーム	参加賞あります
	お楽しみ抽選会	収穫野菜のプレゼント
	サツマイモ・サトイモ掘り体験	小学生、先着30名

※ ふじやま写真コンテスト表彰式も行います(12時ころ)



餅つき、門松、正月遊び、七草がゆ…これから伝承行事が続く。ふじやま公園を支えているボランティア会員が活躍する季節なのだが、ご多分に漏れず高齢化でだんだん伝承が難しくなってくる。落ち葉かきや草刈りなどの、日常作業さえも体力の落ちたカラダにはきつくなっていく。一人一人の体だけではなく、組織として会員の代謝が必要なのだが、現状では全国の縮図と同じように下からの加入はなく上が欠けていくだけ。自分の周りの人をどんどん誘っていきたい。



ふじやま公園工作棟部会の作品展示が開催されました

恒例となった本郷台駅前駐輪場展示スポット展示が10月13日まで開催されました。街行く人々に潤いと賑わいを演出し、工作棟事業の日ごろの成果をみていただきました。バスを待つ間にも、家路に向かう方々も熱心にみてくださり、「毎年楽しみにしているんです」という声をかけていただきました。



★ 第1回ふじやま公園写真コンテスト入賞者発表

8月に行われた第1回ふじやま公園写真コンテストには14名から計46点の応募があり、審査委員会（委員長＝保坂順彌会長）が厳正な審査が行い、最優秀賞2点、優秀賞2点、特別賞1点が選ばれました。

最優秀賞は佐藤寛さん（栄区元大橋2丁目）の「夏の古民家」＝写真左＝と木村治夫さん（港南区日野南7丁目）の「変化朝顔」＝写真右＝の2点、優秀賞は増淵昇一さん（栄区元大橋2丁目）の「式台の朝顔」と間中弘高さん（栄区若竹町）の「七夕飾り」の2点、特別賞には9歳で応募した福島碧月さん（川崎市幸区）の「にわひとりじめ」が選ばれました。表彰式は11月10日のふじやま公園収穫祭で行われ、賞状と、副賞として栄区が友好交流協定を結んでいる長野県栄村の特産品が贈られます。



古民家Q&A 襖(ふすま)と唐紙

Q：襖(ふすま)と唐紙との違いは何ですか

A：襖と唐紙は同じもので、唐紙は襖の別称です。襖は、木製骨組みの両面に紙や布をはって仕上げた障子のこと(襖障子が正式呼称)です。ちなみに紙を片面だけにはったものは明障子と云われます。襖は板戸に比べ軽快な建具で、主に和室の間仕切りに使用されます。

骨組は框、組子、力骨、火打ち板(力板)、引手板とからなり、その周辺に仕上げ材として襖縁が取付けられています。材料はスギ・ヒノキ・クワ・クリなどです。襖紙は鳥の子・奉書・楽水紙などの和紙、あるいは芭蕉布・葛布その他の布類が使われます。昔は襖紙に唐紙と称した中国渡来の紙に模したもので種々の美しい模様のある紙を使った関係上、襖そのものを唐紙障子あるいは単に唐紙と呼ぶようになりました。なお、「ふすま」の語源は御所の寝所(臥す間)を隔てる(障子)からと云われています。



旧小岩井家住宅では上・中・下座敷の間仕切り、仏間と中の中の間仕切りと2間4枚立が3組、計12枚が使われています。



ミスヒキ 水引

「蓼食う虫も好き好き」ということわざでよく知られるヤナギタデと同じタデ科の植物で、半日陰の場所に自生する。9月から11月にかけて細長い茎に、上から見ると赤色で下から見ると白色の花を多くつける。名は、熨斗(のし)袋につける紅白の水引に由来している。
 花言葉は「慶事、祭礼」で縁起が良く、深い色合いが茶席に落ち着いた秋の風情を感じさせてくれることから茶花として利用されることも多い。
 ふじやま公園では、長屋門から炭焼き広場へと伸びる園路脇の斜面などに自生している。



《 新しい体験教室が始まります 》



工作棟で開かれている体験教室に11月から新しい教室が加わります。まず11月2日に開講するのが「レザークラフト」です。講師は上坂美保子さんで、11月は通帳入れ作りです。1万円札もお薬手帳も入るそうです。またこけ玉教室(廣田耕二講師)が12月から始まります。その他1月からの教室も予定されています。お楽しみに…。

『いろり辺雑記』 から (抜粋)

大スキな夏が終わってしまう前に雨上りの午後
 本郷台駅から歩いてやって参りました！

♪せみの鳴き声がBGM♪ 横浜にいることを忘れてしまいます。

竹林の階段 長かったけれど 来てよかった～ (市内 ひとりで 50代)



30年11月ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	1日(木)	古民家歴史部会 部会	11日(日)
農芸部会 部会	15日(木)	古文書(古文書講座)	4日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	7日(水)
里山部会 作業	10日(土) 17日(土)	クリーンアップ	休みます
	18日(日) 25日(日)	広報部会	
工作棟部会 部会	28日(水)	ふじやまだより編集会議	6日(火)
子ども工作準備	適時	印刷	11日(日)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	ホームページ制作打合せ	25日(日)

公園ボランティアを募集中。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡ください

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限 定員
レザークラフト	11月2日(金) 13時～15時	通帳入 1万円札、お薬手帳も入ります サイズ:17×11×1.5 cm イラストもどうぞ	1,800円	10月25日(火) 8名
フラワー アレンジメント	12月25日(火) 13時30分～15時30分	お正月の花	2,000円	12月11日(火) 8名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

★ 区民祭 本郷ふじやま公園も出展します

日 時：11月3日(土) 10時～15時 荒天中止

場 所：本郷中学校グラウンドおよび体育館

竹細工(バイバイ笛) 竹炭販売(熊本震災復興に寄付) パネル・チラシによる公園紹介

★ 改修工事見学会 屋根の改修状況を説明します

日 時：11月3日(土) 13時から

★ 第十七回古文書講座 前月号で詳細掲載済み

日 時：11月4日(日) 13時～14時30分 場 所：あーすぷらざ会議室

演 題：幕末維新期の鎌倉郡の村々 講 師：横浜市歴史博物館 小林紀子学芸員

★ 第1回公園写真コンテスト優秀作品を長屋門穀倉に展示します

日 時：10月下旬から収穫祭実施日まで

★ 第5回公園散策路を巡るポイントラリー

12月9日(日) 10時～12時

ビンゴゲームやクイズに答えながら初冬の散策路をゆつくり巡ります。コースは古民家前庭をスタートし富士塚など。賞品があります。参加者にお汁粉提供。

★ 公園ウォッチングを名称変更しバージョンアップします

主に第1面に掲載してきましたコラム「公園ウォッチング」を、本号から「公園あれこれ」と変更します。公園の今、これからなど幅広い題材を取上げる予定です。

★ 公園ボランティアに参加しませんか

ふじやま公園では年間行事の企画実施、農園や竹炭焼きの自然の中での作業、古民家主屋内の飾付け、ふじやまだよりの編集・印刷など色々な活動があります。これらの活動を説明します。自分の趣味や時間に合せて参加しませんか。管理事務所へお問合せください。

★ ふじやま公園来園者数 9月来園者数 1,062名 30年度累計 8,833名

- | | |
|-----------|----------------|
| ・開 館 時 間： | 9時～17時 |
| ・入 館 料： | 無 料 |
| ・休 館 日： | 毎月第1水曜日(11月7日) |

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593